

効 能 効 果

- (1) 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛（生理痛）・外傷痛の鎮痛
- (2) 悪寒・発熱時の解熱

用 法 用 量

大人（15才以上） 1回 1包 11才以上15才未満 1回 $\frac{2}{3}$ 包
8才以上11才未満 1回 $\frac{1}{2}$ 包 5才以上8才未満 1回 $\frac{1}{3}$ 包
3才以上5才未満 1回 $\frac{1}{4}$ 包 3才未満は服用しないでください。
1日2回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用してください。
服用間隔は6時間以上おいてください。
用法用量に関連する注意：小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

- 注意**
- 1. 次の人は服用しないでください。
 - (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - (2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
 - 2. 服用が適さない場合があるので服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
 - 3. 服用に際しては、説明書をよく読んでください。
 - 4. 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
 - 5. 小児の手の届かない所に保管してください。
 - 6. 本剤は使用期限内に服用してください。
なお、期限を過ぎたものは服用しないでください。

成分分量（1.15 g×2包中）

アセトアミノフェン..... 600mg
エテンザミド..... 1000mg
カフェイン水和物..... 240mg
添加物：バレイシヨデンブン、軽質無水ケイ酸、リン酸水素カルシウム

2包（1包1.15 g） **(250)**

高市製薬株式会社

奈良県高市郡明日香村野口10

TEL 0744-54-2514

製造番号

使用期限

副作用被害救済制度 ☎ 0120-149-931





解熱鎮痛薬使用上の注意

してはいけないこと



[守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります]

1. 次の人は服用しないでください。

- (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください。

他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬

3. 服用前後は飲酒しないでください。

4. 長期連用しないでください。

相談すること



1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 授乳中の人。
- (4) 水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児(15才未満)。
- (5) 高齢者。
- (6) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (7) 次の診断を受けた人。

心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

<裏面へ続く>

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明文書及び外装を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
その他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。

3. 5~6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この説明文書及び外装を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

<保管及び取扱い上の注意>

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください(誤用の原因になったり品質が変わります。)